

## 平成21年度の活動報告

2009年度の地域社会研究センターの活動は、市民参加・地方自治、地域福祉、地域教育、地域文化において下記のように多方面に及んでいる。

市民参加・地方自治の分野では、篠藤所長が全国で進める「市民討議会」の運動が特筆される。

- ・09年5月19日、文教大学にてプランニングスツェレ、市民討議会について特別講義
- ・09年9月19日、第9回日本プランニングスツェレ研究会開催（東京）
- ・09年12月4、5日、日本初の討議型世論調査を視察（東工大、神奈川県）
- ・10年1月12日、滋賀県市町村研修センターにて、市民討議会に関する特別講義
- ・10年2月14日、「自治の学校」第4回「進化（深化）するデモクラシー～討議デモクラシーの冒険～」
- ・10年3月4日、第3回市民討議会・見本市開催（センター後援）

地域福祉の分野における大嶋研究員の活動は以下の通りである。

- ・09年1月19日：自殺・うつ対策支援者研修会講師  
「『死にたい』と相談を受けたときの対応について」後援およびグループワーク
- ・09年12月17日：「平成21年度大分県自殺対策相談機関ネットワーク会議」  
研修会講師「自殺のサインに気づいたときの対応について」
- ・10年2月24日：「平成21年度第2回県立高等学校生徒指導主任等連絡会議」  
研修会講師「生徒のうつ対策と自殺予防」
- ・大分県精神保健福祉センター：相談援助、「自死遺族のつどい」企画運営
- ・はばたき福祉事業団：専門家相談員（HIV 遺族に対するカウンセリングやサポート）
- ・大分ののちの電話：評議員、養成講座講師、スーパーバイザー
- ・別府総合教育センター：「適応指導教室」のサポート（学生の派遣、スーパーバイズ）  
また、三城研究員の活動も精神保健の分野を中心に地域で注目された。
- ・薬物依存症治療施設大分ダルクの支援
- ・大分県精神障害者就労推進ネットワーク 副代表
  - ①大分県内の精神障害者就労実態2次調査の準備
  - ②就労支援大分モデルの開発
  - ③就労支援ネットワークの強化
- ・09年5月26日、別府商工会議所青年部講演「障害者雇用と地域活性」
- ・09年6月6日、大分県精神保健福祉士協会総会記念講演『PSW からみたコミュニティーワーク』
- ・09年6月13日、大分県精神障害者就労推進ネットワーク総会記念講演「精神障害者の就労支援の今後」
- ・09年8月1日 第4回 JEPICC シンポジウム「包括医療への取り組み」講演「てんかんを持つ人の QOL」  
とシンポジスト
- ・10年2月26日、精神障害者の就労を考える竹田フォーラムでの基調講演
- ・10年3月6日精神障害者の就労と地域生活を考える大分フォーラムでの基調講演  
また、10年2月27日 福祉フォーラム「誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して」はセンターが後援し、開催された。

地域文化の分野では、松田研究員が下記の方言の調査研究に取り組んだ。

- ・ 8月21～23日 科研費研究「言語生活50年の変容」調査 大分県竹田市長湯
- ・ 9月12～14日 科研費研究「言語生活50年の変容」調査 大分県豊後高田市呉崎
- ・ 11月22日、29日 科研費研究「言語生活50年の変容」調査 大分県大分市一尺屋
- ・ 10月19日 豊後高田市「大分方言まるだし弁論大会」審査員
- ・ FM大分「ハイカラ食堂」ゲスト出演（2月2日、4月23日、7月8日、10月14日）

地域教育の分野では、瀬戸口研究員が、子育てネットワーク大分実行委員として「子育てネットワーク大分集会 in 湯布院」の特別分科会（日出町の子育てネットワークの活動報告について）の司会を担当した。また、別府市地域「協育」プロジェクト会議委員（副会長）として、別府市南小と浜脇中学の地域住民による学校支援計画に参画。別府市社会教育委員として、別府市社会教育委員の会に参加した。